

編集後記

(65巻 第9号 2019年9月)

急な招請によって中国広州に招かれ、中国泌尿器科学会の膀胱癌シンポジウムで講演をする機会を得た。何年かおきに中国での学会に参加してきたが、参加する毎に中国の泌尿器科のレベルアップに驚かされる。中国独自に開発された医療機器などの特許や臨床試験の演題も多い。また、基礎研究に対する積極的な姿勢も以前には考えられなかったほどすばらしかった。熱気だけならずで日本は負けているのではないかと思うほどだった。

2泊3日の弾丸旅行で、観光も出来なかったが、高さが世界3位という広州タワーにだけは登ってきた。高いところから見る広州は高層ビルが建ち並ぶ大都会だったが、やはり遠くは空気汚染のためか霞んで見えた。

(小川 修)